



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2015年

ギリシャ再建策拒否



5日、ギリシャの首都アテネで、喜ぶ反対派の支持者ら（ロイター＝共同）

国民投票首相が勝利宣言

号外

購読申し込み
0120-13-1231
ホームページ
www.sakigake.jp
携帯サイト
m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

ギリシャ国民投票の結果

EU財政再建策に

賛成	NAI	反対	OXI
38.55%		61.45%	

(開票率約90%)

【アテネ共同】財政危機のギリシャで5日投票された欧州連合（EU）などが求める財政再建策への賛否を問う国民投票で、再建策に反対してきたチプルラス首相は5日夜、「ギリシャは歴史的なページを開いた」と述べ、反対派の勝利を宣言した。内務省によると、反対は有効投票数の60%程度と賛成を大きく上回った。国民は厳しい緊縮策を拒否、EUの支援再開は困難となった。ギリ



5日、テレビ演説するギリシャのチプラス首相（ロイター＝共同）

リシャが財政破綻し、欧州単一通貨ユーロ圏から離脱を迫られる事態も想定される。欧州統合の象徴ユーロは1999年の誕生以来、離脱の前例はなく、EUは最大の試練に直面した。国際金融市場に動揺が拡大。財政基盤が弱いイタリアなど南欧諸国に今後、危機が波及する懸念もあり、日米欧の先進7カ国（G7）は協調して不測の事態に備えることになる見通し。ギリシャ政府は今月中に満期を迎える円建て債券（サムライ債）や国債の償還ができず、デフォルト（債務不履行）が相次ぐことが懸念される。

ギリシャは6月30日が返済期限だった国際通貨基金（IMF）に対する16億7千（約2200億円）の債務を返せず、IMFは同国を「延滞国」と認定した。